

## 英国 マンダリン品種の権利者が小売業者に警告

EUROFRUIT 2023年9月12日

受賞歴もあるナドルコット(Nadorcott)品種のマンダリンの知的財産権を有するナドルコットプロテクション社(NCP: Nadorcott Protection(モロッコの王室が所有))は、同社がタンゴ(Tango)及びタンゴールド(Tang Gold)品種の「無許可販売」であると主張するものについて、英国の9つの主要な小売業者に通知したことを明らかにした。NCPは、タンゴ/タンゴールド品種の「無許可販売」は、「ナドルコット品種を対象とする英国の植物育成者権(UK PBR)を侵害する」としている。

NCPの代理人らは、タンゴ/タンゴールド品種の無許可販売が英国のアルディ、アズダ、コープ、リドル、マークスアンドスペンサー、モリソンズ、セインズベリーズ、テスコ及びウェイトローズの店舗で行われていることを特定したと述べている。伝えられるところによると、NCPは書簡で、「英国におけるタンゴ/タンゴールド品種の無許可販売に関連する潜在的なリスク」について小売業者らに警告した。

NCPによると、タンゴ/タンゴールド品種が「本質的に派生した品種」を構成するかどうかを確立するための手続きが進行中である。同社は「この分類が、進行中のまたはさらなる手続きにおいて裁判所によって確定された場合、遡及的に適用される可能性があり、小売業者に大きな影響を与えることとなる」と警告した。

EUの植物品種庁(CPVO)は、ナドルコット品種とタンゴ/タンゴールド品種の間には2つだけ違いがあることを確認した。NCPは、これらの調査結果に照らして、タンゴ/タンゴールド品種を、保護されたナドルコット品種からの従属的で「本質的に派生した品種」であると見なすと結論付けた。

同社のモハメド・ベンビガ氏は、「弊社は欧州市場でのタンゴ品種の発売以来、タンゴ/タンゴールド品種は保護されたナドルコット品種の本質的に派生した品種として分類されるべきであるとの明確な立場をとっている。我々は引き続き、ナドルコット品種の独占的権利を強力に保護するために必要なあらゆる措置を講じるとともに、NCPの独占的知的財産の不正利用を防ぐための措置を講じる」と語った。

執筆者: トム・ジョイス

## 南アフリカ産柑橘類 EUで黒星病の検出が3倍に

FreshPlaza 2023年9月12日

バレンシア州(スペイン)の農業者連盟(La Unió Llauradora)は、今年南アフリカからEUに輸入された柑橘類の有害生物の検出件数が前年の3倍になったと非難した。検出件数(輸入拒否件数)は、2022年1月から8月までの12件から、今年の同時期には37件に増加した。(以下「」は同連盟の声明)

「今年の8月の検出件数は実に酷いものであった。南アフリカ産からの検出が11件、欧州連合と南部アフリカ諸国の協定に含まれるジンバブエ産からの検出が4件であった。すべての不合格は、恐ろしい柑橘類の黒星病を引き起こす真菌(*Phyllosticta citricarpa*)によるものであることに留意する必要がある。」

「南アフリカ産柑橘類で病気の検出率が高いことは、同国の防疫システムの不具合を浮き彫りにしている。したがって、果実がこの種の検疫害虫のいない地域の産物であるという保証はなく、収穫後の管理が適切に行なわれているという保証もない。」

「この状況とそれに伴うリスクを考慮して、当連盟は、根絶できない害虫がEUに侵入する前に、出荷物の植物防疫上の安全性を保証できない南アフリカなど第三国からの輸入を自動的に停止するよう要求する。さらに、検出リストの上位に書かれているのは常に同じ国々である。この点で、直近の輸入シーズンに常に検出されたのは黒星病菌とフォールスコドリグモス(*Thaumatotibia leucotreta*(蛾の一種))であり、これらの病害虫が付着した果実がEUに侵入してヨーロッパの柑橘類の栽培に影響を与えるのを防ぐ必要があることは注目に値する。当連盟はまた、フォールスコドリグモスの侵入を防ぎ、ヨーロッパの柑橘類栽培にまだ存在しない病気を制御する対策を強化するために、低温処理をマンダリンに拡大することを主張する。」(以下省略)